

# 予防接種スケジュール

大切な子どもをVPD(ワクチンで防げる病気)から守るためには、接種できる時期になったらできるだけベストのタイミングで、忘れずに予防接種を受けることが重要です。このスケジュールはNPO法人 VPDを知って、子どもを守るの会によるもっとも早期に免疫をつけるための提案です。お子さまの予防接種に関しては、地域ごとの接種方法やVPDの流行状況に応じて、かかりつけ医と相談のうえスケジュールを立てましょう。

ワクチン名	接種済み ☑	0歳	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	1歳	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	(満年齢)
<b>不活化ワクチン</b> B型肝炎 (母子感染予防を除く) <span>定期</span>	☐☐☐			①	②																											
<b>生ワクチン</b> ロタウイルス (飲むワクチン) <span>定期</span>	1価 ☐☐ 5価 ☐☐☐☐			①	②																											
<b>不活化ワクチン</b> 小児用肺炎球菌 <span>定期</span>	☐☐☐☐			①	②	③																										
<b>不活化ワクチン</b> 五種混合 (ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ・ヒブ) <span>定期</span>	☐☐☐☐☐			①	②	③																										
<b>生ワクチン</b> BCG <span>定期</span>	☐						①																									
<b>生ワクチン</b> MR (麻しん風しん混合) <span>定期</span>	☐☐														①																	
<b>生ワクチン</b> 水痘 (みずぼうそう) <span>定期</span>	☐☐														①																	
<b>生ワクチン</b> おたふくかぜ <span>任意</span>	☐☐														①																	
<b>不活化ワクチン</b> 日本脳炎 <span>定期</span>	☐☐☐☐☐																															
<b>mRNA ワクチン</b> 新型コロナ <span>任意</span>																																
<b>不活化ワクチン</b> インフルエンザ <span>任意</span>	毎秋																															
<b>不活化ワクチン</b> HPV (2価、4価、9価) (ヒトパピローマウイルス) <span>定期</span>	☐☐☐																															
<b>不活化ワクチン</b> 髄膜炎菌 <span>任意</span>	☐																															
<b>渡航ワクチン</b>	☐																															

生ワクチン 定期 定められた期間内で受ける場合は原則として無料(公費負担)。 定期の予防接種の対象年齢 ←○→ おすすめ接種時期(数字は接種回数) (※) 添付文書に記載はないが、接種を推奨

不活化ワクチン 任意 多くは有料(自己負担)。自治体によっては公費助成があります。任意接種ワクチンの必要性は定期接種ワクチンと変わりません。 任意接種の接種できる年齢 ←○→ 添付文書に記載のないおすすめ接種時期

mRNA ワクチン 任意 2歳から受けられます。海外留学や寮生活をする人などは接種を推奨しています。 異なる種類の注射の生ワクチン同士の接種間隔は最短で4週間です(4週間後の同じ曜日から接種可)。

同時接種: 同時に複数のワクチンを接種することができます。安全性は単独でワクチンを接種した場合と変わりません。国や日本小児科学会も乳幼児の接種部位として太もも(大腿前外側部)も推奨しています。詳しくはかかりつけ医にご相談ください。

詳しい情報は <https://www.know-vpd.jp/> VPD 検索